

教材名「野麦峠を越えて」

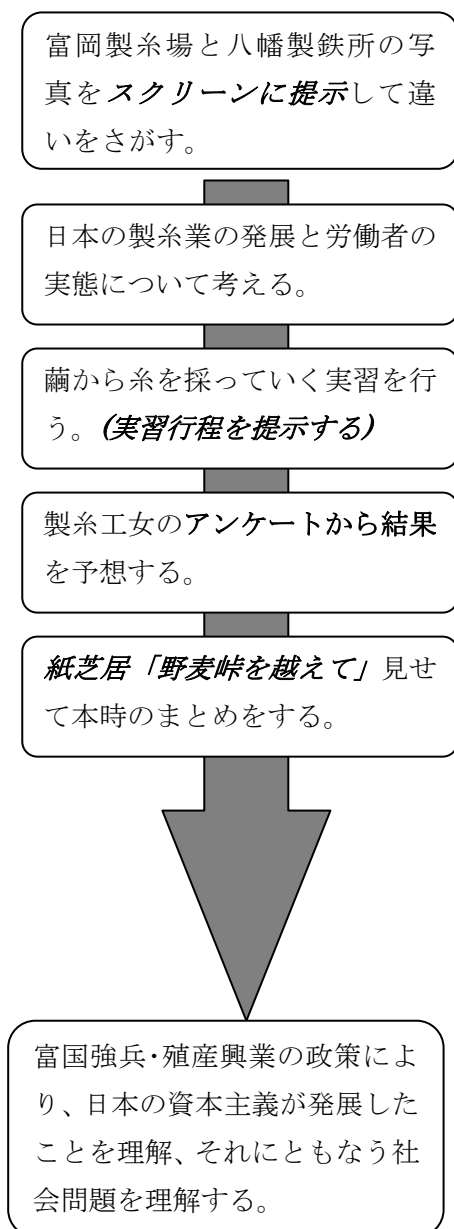
■ 目標

・日本における産業革命の進展のようすを調べ、富国強兵・殖産興業の下で資本主義経済の基礎が固まったことを理解し、日本の資本主義経済の発展を多くの低賃金労働者が支えたことに気づく。

■ コンピュータを活用する利点

- ・スライドを活用することによって作業の手順を大きく示すことができる。
- ・電子黒板を用いる事で、生徒の意見をスライドに直接書き込むことができる。

■ 授業の流れ



■ ICT活用場面

本教材を、2時間構成で行った。1時間目は、スライドを使いながら製糸工場のようすを理解させ、実際に繭から生糸をとる簡単な「糸繰り」の実習を行った。その際に、「糸の繰り方」をスライドで説明し、2人～3人を1組で糸繰りの体験をさせた。2時間目は、電子黒板で製糸工女たちのアンケートの結果を予想させた。生徒の予想とアンケートの結果が違うことから過酷な実態を気づかせることができた。最後に紙芝居「野麦峠を越えて」を見せ、本時のまとめをした。

■ 成果と課題

社会科では、毎時スライドを使いながらの授業を行っている。特に今回、スライドを用いた「糸の繰り方」の説明は、生徒にとって作業行程が理解でき、スムーズに実習を進めることができた。また、2時間目に行った製糸工女へのアンケート結果と生徒の予想の違いに驚きの声が上がった。電子黒板のスマートノートブックは、瞬時に手で文字を移動させる手法ができるために、生徒の興味・関心を引き付ける活用となった。最後に紙芝居をデジカメで撮って電子化し、それをスライドにしてまとめの学習として見せた。

指導者が現地「野麦峠」に行った時に撮影した写真もスライドにして見せたため予想以上に時間がかかったので、もう少し資料の精選の必要があると考えている。

■ ICT活用環境等

使用周辺機器	ノートパソコン1台、プロジェクタ、電子黒板、MDデッキ
使用ソフト名	スマートノートブック
使用教室	普通教室